

PWAU(パレスチナ労働者闘争ユニオン)

全米自動車労組によるイスラエル国債からの投資撤退決定を歓迎

ラマツラー発:

パレスチナ労働者闘争ユニオン(PWSU)は、全米自動車労組(UAW)がイスラエル国債への投資を引き揚げる決定を下したことを歓迎し、この措置を、パレスチナ人民とその正当な権利に対する国際的な労働者連帯の重要な前進であると評価した。

同ユニオンは本日発表した声明の中で、米国ミシガン州デトロイトで開催された UAW 第 39 回定期大会(憲章大会)で採択されたこの決定は、投資方針を正義と人権の原則に一致させることの重要性について、米国労働運動内部での認識が高まっていることを示していると強調した。

さらに同ユニオンは、この決定は労働運動が自らの組織の経済・投資政策に影響を与える力を持っていることを示す明確なメッセージであり、連帯の意思を実践的な行動へと転換し、自由、正義、そして諸民族間の連帯という価値を強化するものであると指摘した。

また、パレスチナ労働者闘争ユニオンは、この取り組みを長年にわたり労組内部で推進してきた活動家や労働者たちの努力を高く評価し、この決定は進歩的労働運動にとって新たな成果であり、世界各地でパレスチナ人民との連帯をさらに発展させる励みになると述べた。

同ユニオンは最後に、世界の労働組合および労働者団体に対し、人権と社会的正義を擁護する役割をさらに強化し、自由と独立、そして占領終結を求めるパレスチナ人民の闘いへの支援を継続するよう呼びかけた。

パレスチナ労働者闘争ユニオン(PWSU)

2026 年 6 月 20 日